



犬用 消化器サポート(低脂肪)は消化吸収不良による下痢や高脂血症の犬に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、低脂肪*1でも適切なカロリーや必須脂肪酸を摂取できるように調整しています。

この食事療法食の対象



● 膵外分泌不全(EPI)(脂肪の負荷を低減したい場合)

膵臓が分泌する消化酵素が十分に分泌されない膵外分泌不全において、特に脂肪による負荷を低減したい場合に適しています。



● 急性膵炎の管理・長期管理

急性膵炎では、初期は絶食や静脈栄養、腸へのチューブフィーディングなどが推奨されます。

その後は少量の水から開始して、状態がよければ慎重に低脂肪食の給与(少量頻回)を開始していきます。その際、膵酵素の添加も推奨されます。

それ以降は状態をみながら低脂肪食*1で維持していきます。もし肥満している場合は減量用の食事療法食も選択肢に含まれます。



● 下痢(脂肪消化吸収不良が考えられる場合など)

便に脂肪が含まれているなど、脂肪の消化不良が疑われる場合に推奨されます。



● 高脂血症

脂肪を制限した食事が推奨されます。

● リンパ管拡張症

脂肪を制限した食事が推奨されます。

● 小腸内細菌過増殖(SIBO)

十二指腸あるいは空腸で細菌の数が著しく増加している状態を小腸内細菌過増殖と呼びます。上部小腸内に過度の細菌が存在する場合には、たとえそれが病原細菌でなくとも胆汁酸の非抱合、脂肪酸の非水酸化、アルコール形成、刷子緑酵素の破壊などが起こり、それが病原性発現機序として考えられます。この病態への第一選択は脂肪を制限した食事です。

● 軽度の肝疾患

エコー検査でび慢性の高エコーがみられるような軽度の脂肪肝などでは、脂肪を制限した食事が推奨されます。

*1ヨーロッパにおける食事療法の規則*2に基づき、給与開始から3~12週後に、継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

*2.DIRECTIVE ESTABLISHING A LIST OF INTENDED USES OF ANIMAL FEEDINGSTUFFS FOR PARTICULAR NUTRITIONAL PURPOSES 94/39/EC

成分		単位/400kcal	
タンパク質	31.1g	銅	2.07mg
脂肪*1	7.0g ↓↓	亜鉛	14.51mg
食物繊維	12.0g ↓	ナトリウム	0.25g
灰分	6.2g	EPA+DHA	83mg
水分	306.7g	L-カルニチン	—
炭水化物	56.4g	タウリン	0.58g ↑
カルシウム	1.0g	アルギニン	1.70g
カリウム	0.58g	ビタミンE	62.2mg ↑
リン	0.54g	ビタミンC	22.80mg ↑
マグネシウム	0.10g	ビタミンB群	14.29mg
鉄	16.58mg		

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化

代謝エネルギー ... 97kcal/100g



規格: 200g・410g

1日の給与量の目安

成犬の体重 (kg)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	30	40
標準	225g	375g	505g	625g	735g	840g	940g	1035g	1130g	1220g	1640g	2020g
調整範囲	最大	285g	470g	630g	780g	920g	1050g	1175g	1295g	1410g	1525g	2050g
	最小	170g	280g	380g	470g	550g	630g	705g	775g	845g	915g	1230g

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。

使用が推奨されない病態等

● 妊娠/授乳期

低脂肪の食事は推奨されません。

原材料

豚レバー、豚肉、コーン、米、セルロース、ビートパルプ、魚油、酵母エキス(マンノオリゴ糖含有)、マリーゴールドミール(ルテイン源)、ミネラル類(Ca、P、Mg、Na、K、Cl、Zn、Fe、Mn、Cu、I)、タウリン、増粘安定剤(カラギーナン)、ビタミン類(コリン、C、E、B1、ナイアシン、パントテン酸カルシウム、D3、B2、B6、葉酸、ビオチン、B12)

*調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

- 本バラエティーにはドライタイプもあります。
- 症状の程度によって給与期間はさまざまです。

● 成犬の栄養要求を満たしています。

● 本製品の各適応に対して選択いただける他のバラエティーについては、「疾病からみる適応表(P.7、P.8)」をご覧ください。